

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

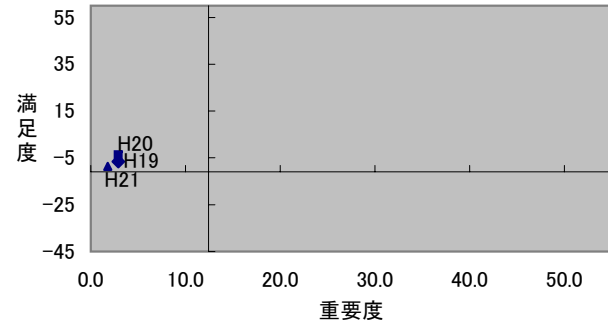
施策名 (小項目)	成人教育	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-02-03	氏名	末長章彦	
			電話	64-1841	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	社会教育関係団体をはじめ、すべての市民があらゆる機会や場を活用し、自らの実生活に即する文化的教養を高めるなど、生涯にわたり取り組める学習環境づくりに努める。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	心豊かで生きがいのあるライフスタイルを確立するため、自らの実生活に即した生涯学習社会の構築を図る必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習情報の提供</li> <li>学習機会の拡充</li> <li>企業・地域との連携</li> <li>各種学級・講座の充実</li> <li></li> <li></li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	2.9	2.9	1.8	
満足度(%)	-6.6	-3.7	-8.6	



高	↑	＜見直し領域＞ その施策や事業が必要か否かの検討が必要	＜維持領域＞ 現状の方向を継続
満足度		平均	
↓	低	＜検討領域＞ その施策や事業の存続の検討が必要	＜強化領域＞ 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う
		低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合が下降傾向になった。性別では男性が年代では20代30代の割合が低い。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 自発的な学習に取り組んだり趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	目標	%	35.0	35.0	35.0	H21	35.0
	実績	%	33.2	33.6	32.3	H23	35.0
	達成率	%	94.9	96.0	92.3	H28	35.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 成人式参加割合	目標	人	90	90	90	H21	90
	実績	人	80	80	78	H23	90
	達成率	%	88.9	88.9	86.7	H28	90
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 婦人協議会会員数	目標	人	700	700	700	H21	700
	実績	人	600	600	600	H23	700
	達成率	%	85.7	85.7	85.7	H28	700
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆☆ ☆	経費の性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 生涯学習推進事業	B	生涯学習推進委員会運営事業	単市	39			0			0	304	0.04	☆	その他	59
		県民フェスティバル開催事業	補助	0			3,335	9,193		0	2,014	0.23	☆	H20終了	
		子ども情報センター運営事業	単市	884	6,355	0.70	802	1,571	1.42	652	1,214	0.16	☆☆☆☆	その他	728
		公用車管理事業(生涯学習課)	単市	217			240	75		256	76	0.01	☆☆☆☆	その他	253
		生涯学習課管理運営事業	単市	250			151	823		127	531	0.07	☆☆☆☆	その他	199
2 奨学資金貸付事業	C	奨学資金貸付金給付事業	法定	12,780	3,325	0.40	9,060	1,671	0.22	4,560	2,125	0.28	☆☆	義務的	6,002
3 PTA連合会支援事業	B	備前市PTA連合会補助事業	単市	160	380	0.05	128	75	0.01	84	76	0.01	☆☆	その他	80
4 人材養成講座事業	C	人材養成講座事業	単市	53	1,770	0.20	25	250	0.03	0	0	0.00	☆☆	その他	53
		社会教育委員活動事業	単市	178			209	1,058		171	720	0.07	☆☆☆☆	その他	266
		社会教育指導員活動事業	単市	1,373			1,371	27	0.32	1,388	0	0.00	☆☆☆☆☆	その他	1,387
		教育の日関連事業	単市	1,454			851	150		288	768	0.08	☆☆☆☆☆	その他	387
5 社会教育事業	C	成人式運営事業	単市	795			606	1,355		358	1,508	0.19	☆☆☆☆☆	その他	436
		備前市婦人協議会補助事業	単市	270	380	0.05	270	75	0.01	216	152	0.02	☆☆	その他	216
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度	平成19年度	平成20年度						計			
				18,453	19,610	2.10	17,048	16,323	2.01	8,100	9,488	1.16			10,066

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前中学校学校支援実行委員会	学校・生徒に対して地域教育力をボランティアとして結集する	学校を核として、地域の一体感を醸成し、地域社会の再構築を期す。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	子ども情報センターや成人式は参加者自ら企画運営、婦人会協議会など社会教育団体も主体的な団体運営ができるよう指導をしている。	3	生涯学習の場の提供として、中央公民館、地域公民館、図書館、視聴覚ライブラリー、生涯スポーツの場の提供として運動公園の場を提供し、各種講座、スポーツ教室の開催を行っている。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	事業の構成にあっては、必要最低限のもので実施している。市民ニーズの多様化により新規事業の展開が必要である。	2	ここでは、成人教育についての総務費のみの施策で、市民の学習意欲のニーズを把握し、公民館、図書館、スポーツ等の施策に反映させるべきである。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	生活者の視点で、いつでも参加でき学習意欲を満足させられる生涯学習体制とは言えない状況。	3	市民意識調査によれば、自発的な学習に取り組んだ市民の割合は昨年度より減っている。新たな事務事業を考える必要がある。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	団塊世代の社会教育講座など、時代に即応した講座開設を図っていく必要がある。		最近ではスポーツ活動、公民館活動、文化協会活動等が高年齢化している。青年団活動も低迷しており、全体的に事業の見直しをする必要がある。	
二次評価者コメント	市民の学習意欲を再発掘する必要がある。文化協会・体育協会等高年齢化しているが、熱意をもった指導者もいる。講座、研修会等開催に工夫が望まれる。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 教育次長 氏名 竹中 史朗			2やや低い	平均的な配分